

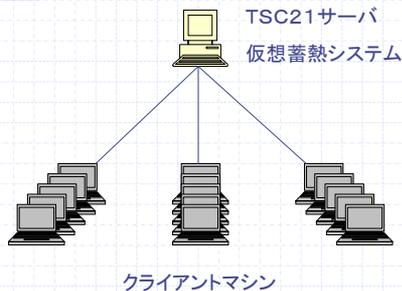
# TSC21技術講習会

2003年8月29日

## 本日の実施内容

- ◆ PCのセットアップ
  - ◆ TSC/comチュートリアル
    - インストール
    - 動作確認
    - 動作解説
  - ◆ TSC/progチュートリアル
    - インストール
    - カスタマイズ

## ネットワーク構成



## PCのセットアップ

## セットアップの流れ

- ◆ ネットワークの設定
  - 設定方法(Windows2000)
  - 設定方法(Windows98)
- ◆ ネットワーク接続の確認
- ◆ ソフトウェアインストールの準備
- ◆ Java実行環境のインストール

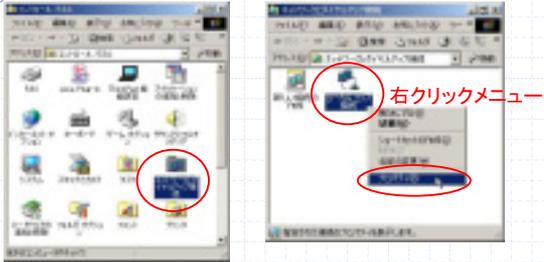
## ネットワークの設定

- ◆ DHCPの利用
  - 「IPアドレスを自動的に取得」に設定してください。

### 注意事項

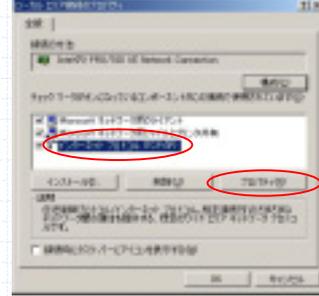
変更前の情報はメモを取るなどして、忘れないようにしてください。会社等でネットワーク接続するには、本日の講習会終了後、各自で設定を元に戻していただく必要があります。

### 設定方法(Windows2000)その1

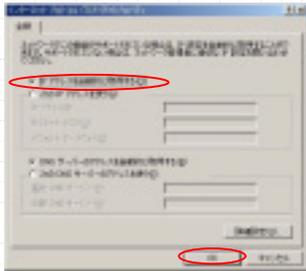


スタート→設定→コントロールパネル

### 設定方法(Windows2000)その2



### 設定方法(Windows2000)その3



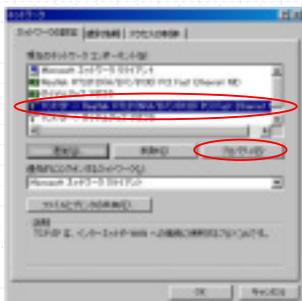
DNSは使用しないので、変更の必要はありません

### 設定方法(Windows98)その1

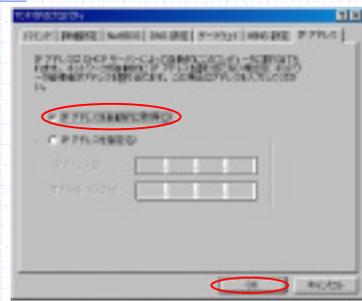


スタート→設定→コントロールパネル

### 設定方法(Windows98)その2



### 設定方法(Windows98)その3



設定終了後再起動して下さい

## ネットワーク接続の確認

Windows2000

スタート→プログラム→アクセサリ→コマンドプロンプト

Windows98

スタート→プログラム→MS-DOSプロンプト

キーボードから「ping 192.168.2.1」と実行

Reply from 192.168.2.1: bytes=32 time<10ms TTL=255

などと4行表示されれば接続OK

Destination host unreachable.

Request timed out.

など表示された場合はNG

## ソフトウェアインストール準備 (1)

共有フォルダからファイルのコピー

マイネットワーク (Windows98はネットワークコンピュータ)

↳ ネットワーク全体

↳ Microsoft Windows Network (Windows98はない)

↳ Tsc21

↳ Sonic

↳ **共有フォルダ**

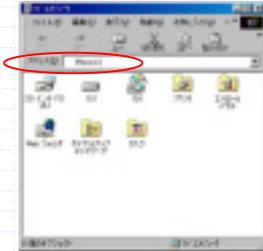
にあるファイルを自分のマシンにコピーして下さい

Windows98でログイン時に「キャンセル」しないで下さい  
共有フォルダが見えなくなります

## ソフトウェアインストール準備 (2)

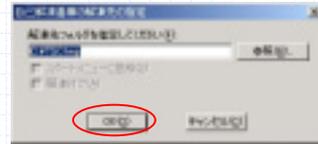
共有フォルダが見つからない場合

次のようにアドレスに「¥¥sonic」と入力して下さい



## ソフトウェアインストール準備 (3)

TSC21.exeを実行



TSC/comおよびTSC/progの必要なファイルを  
デフォルトではC:\¥TScTmpに展開します

## Java実行環境のインストール(1)

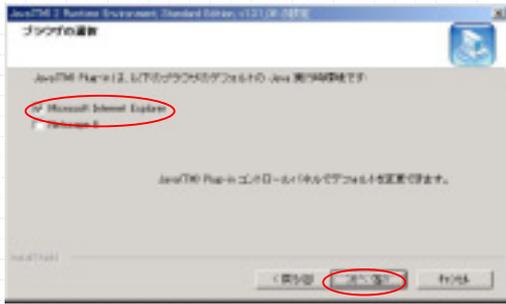
j2re-1\_3\_1\_08-windows-i586-i.exeを実行



## Java実行環境のインストール(2)



# Java実行環境のインストール (3)



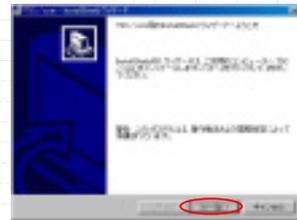
# TSC/comチュートリアル

# チュートリアルの流れ

- ◆インストール
- ◆設定
- ◆起動
- ◆動作確認
- ◆振る舞いについて解説

# TSC/comのインストール (1)

- ◆インストーラsetup.exeを実行



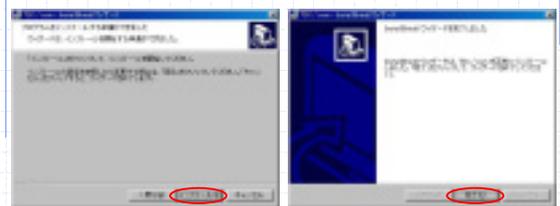
Windows98では再起動が必要になることがあります

# TSC/comのインストール (2)



今回の講習ではインストール先はC:\TSC21として説明します

# TSC/comのインストール (3)

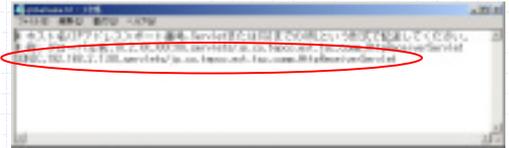


講習会終了後、アンインストールする場合は、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」から行ってください。

## TSC/comの設定(1)

- ◆ 各種設定はC:¥TSC21¥defにあるファイルを書き換えます
  - TSC/com本体の設定
    - ◆ TSCdefine.iniを書き換えます  
今回の講習では変更の必要はありません
  - 外部接続先の設定
    - ◆ globalname.txtを書き換えます  
仮想蓄熱システムが動作しているサーバを追加します

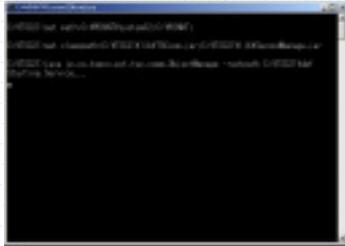
## TSC/comの設定(2)



SONIC,192.168.2.1:80,servlets/jp.co.tepco.ext.tsc.comm.HttpReceiverServlet  
上記内容を一行に記入してください  
servlets～は一行上にあるものと同じなので、コピーすると便利です

## TSC/comの起動(1)

- ◆ C:¥TSC21¥TSCcomStart.batを実行



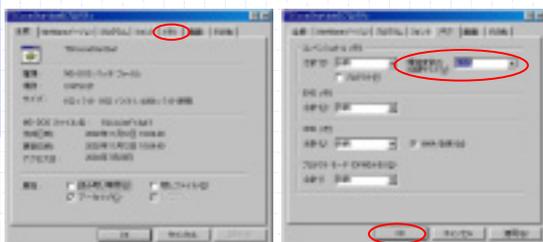
Starting Service...と表示されればOK

## TSC/comの起動(2)

- ◆ Windows98で途中に  
「環境変数のための領域が足りません。」と表示されて起動しない場合

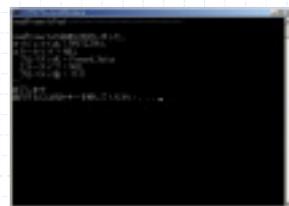
TSCcomStart.batを右クリック→プロパティでメモリタブの「環境変数の初期サイズ」を増やしてください

## TSC/comの起動(3)



## TSC/comの動作確認

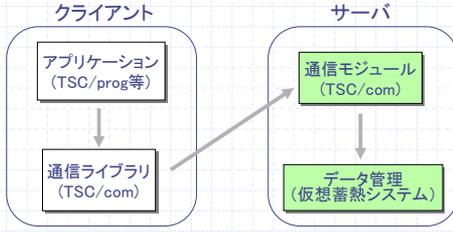
- ◆ C:¥TSCtmp¥SampleAP.batを実行  
TSC/comを起動したまま実行してください



「処理に成功しました。」と表示され、プロパティ値などが表示されればOK

### TSC/comの振る舞い(1)

例: 仮想蓄熱システムのHP[1].Twinの値を読み込む場合



### TSC/comの振る舞い(2)

アプリケーション (TSC/prog等)

①readProperty  
SONIC  
virtual\_data\_manage  
HP[1].Twin  
Present\_Value

通信ライブラリ (TSC/com)

オブジェクトのグローバル名  
データ管理名  
オブジェクト名  
プロパティ名

を指定

### TSC/comの振る舞い(3)

グローバル名から接続先を特定

通信ライブラリ (TSC/com)

グローバル名	IPアドレス
SONIC	192.168.2.1

HTTP  
通信

通信モジュール (TSC/com)

IPアドレス192.168.2.1の通信モジュールに対して

②readProperty  
virtual\_data\_manage  
HP[1].Twin  
Present\_Value

データ管理名  
オブジェクト名  
プロパティ名

を指定

### TSC/comの振る舞い(4)

通信モジュール (TSC/com)

データ管理 (仮想蓄熱システム)

データ管理に対して

③readProperty  
HP[1].Twin  
Present\_Value

オブジェクト名  
プロパティ名

を指定

### TSC/comの振る舞い(5)

通信モジュール (TSC/com)

データ管理の中の仕組みはベンダー独自の方法でOK

④戻り値 11.8

オブジェクト名、プロパティ名に対応した値を返す

データ管理 (仮想蓄熱システム)

オブジェクト名 = HP[1].Twin	プロパティ名	値
	Present_Value	11.8

オブジェクトごとに値をテーブルで管理

### TSC/comの振る舞い(6)

アプリケーション (TSC/prog等)

⑥戻り値 11.8

通信ライブラリ (TSC/com)

⑤戻り値 11.8

通信モジュール (TSC/com)

HTTP  
通信

TSC/comチュートリアル  
以上